

計量史を語る会2023

2023年10月20日(金)、(株)クボタ久宝寺事業センター(大阪府八尾市)にて

計量史をさぐる会2023
 日本計量史学会(会長:山田研治)は、計量史を語る会2023を株式会社クボタ、久宝寺事業センター(大阪府八尾市)にて開催する。

日時:2023年10月20日(金)
 会場:(株)クボタ久宝寺事業センター(大阪府八尾市神武町2-35)
 参加費:研究発表会会員3000円、会員外4000円、懇親会4000円
 共催:公益社団法人計測自動制御学会力学量計測部会
 協賛:一般社団法人日本計量振興協会、東京産業考古学会、日本技術史教育学会
 後援:日本計量新報

■プログラム

【第一部】
 開会式(12:40~13:10)
 主催者挨拶:日本計量史学会会長 山田研治
 設置者挨拶:株式会社クボタ精密機器ユニット長 吹原智宏
 来賓挨拶:大阪府計量検査所所長 柳生国良
 来賓挨拶:大阪府計量協会理事長村上昇

【第二部】
 工場見学(13:10~14:20)

【第三部】
 特別講演(14:30~16:10)
 「(株)クボタ移譲はかりの紹介」

【第四部】
 研究発表(16:20~17:00)
 1、国際温度目盛(国際温度標準)の変遷?小川実吉
 2、羽田正見と佐藤政養の貨幣密度(比重)分析:山田研治

【第五部】
 懇親会(17:10~19:10)
 会場:クボタ久宝寺事業センター内
 オプションメニュー(10月21日(土) 10:00~15:00)
 10:00 パナソニックミュージアム松下幸之助像前集合
 (雨天の場合は、松下幸之助歴史館入口ロビー)
 (次ページへつづく)



計測と科学
 毎週日曜日発行
 日本計量新報社
 東京都江東区亀戸7丁目62-16
 〒136-0071 TEL 03-5628-7070 FAX 03-5628-7071
<https://www.keiryu-keisoku.co.jp/>
 購読料年間 27,500円(消費税込み)

定量計量専用機
Pack NAVI
 速くハカル、楽にツメル

 Yamato
 大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
<http://www.yamatoscale.co.jp/>

一般社団法人兵庫県計量協会
令和5年度近畿計量大会開催
 2023年11月17日(金) 神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて

近畿府県計量団体が1、開催日時
 行っている「近畿計量大会」は、本年度は兵庫県が当番になっており、2023年11月17日(金) 023年11月17日(金) 閉会:18時30分(予定)に神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて開催される。

1、開催日時
 2023年11月17日(金) 受付:12時 開会:13時 閉会:18時30分(予定)
 2、開催場所
 神戸メリケンパークオリエンタルホテル4階瑞天の間

3442・3443号を合併号とし、10月16日付で発行します。

今週の主な記事

計量史を語る会2023 / 一般社団法人兵庫県計量協会 / 一般社団法人北海道計量協会
 日本粉体工業技術協会POWTEX開催
 産総研/ミットヨ/NITE
 第74回計量士国家試験特集
 コロナ計量士の国家試験対策図書
 経産省JIS/カナタとの協力覚書(署名)
 JEMICセミナー開催/チノノ新製品発売
 三豊科学技術振興協会助成/島津中国生産強化
 鉄道技術展/橋梁・トンネル技術展開催
 JAIMA分析機器体験実習開催/社説
 JAPAN PACK 2023開催

1面
2面
3面
4面
5面
6面
7面
8面
9面
10面
11面
12面

令和5年度東北・北海道計量大会及び
 第70次東北六県北海道計量協会連合会総会開催

一般社団法人北海道計量協会
 計量協会内東北六県北海道計量協会連合会
 長:本郷嘉彦 は来る2023年10月5日(木)に令和5年度東北・北海道計量大会及び第70次東北六県北海道計量協会連合会総会を開催する。

令和5年10月5日(木) 13時30分

1、開会
 2、黙祷
 3、来賓・招待者紹介
 4、東北六県北海道計量協会連合会会長あいさつ

5、計労表彰

▽表彰状贈呈
 △感謝状贈呈
 ▽記念品贈呈
 6、大会記念事業
 7、大会宣言
 8、来賓祝辞
 9、祝電披露
 10、閉会

住所:神戸市中央区波止場町5番6号
 電話:078-3325-8111
 3、大会内容
 (1) 開会
 (2) 主催者挨拶
 (3) 来賓祝辞
 (4) 来賓紹介
 (5) 近畿計量協議会会長感謝状贈呈
 休憩
 (6) 記念講演:演題「計量標準のこれまでとこれからの展望」(次ページへつづく)



上皿天びん
 UniBloc Performance Balances
UP シリーズ

クラス最速の応答性能 はかりとり作業の効率を大幅にアップ

UPシリーズ24モデル: 最小読取り0.1g~0.001g

- はかりとり作業性向上
 微量計量(最小表示値の10倍相当)の表示反応時間を約1秒に短縮
- 優れた耐久性
 耐久性に優れたUni Blocセンサの採用により故障によるダウンタイムを低減
 耐久試験1000万回クリア(計量法試験基準の100倍)
- 作業性を高める除電器
 イオナイザSTABLO-AP(オプション)で静電気による影響を排除し
 信頼性の高い計量を実現
- PLCとの動作実績
 国内主要PLCメーカー製品で動作実績があり



株式会社 島津製作所 分析計測事業部

UPシリーズの特徴を、わかりやすくムービーで解説
<https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/up-d.htm>

